

Q 献血時に血液検査（病原体検査）を行うのはなぜ？

A 献血した血液に病原体が入っていないかを調べ、輸血用血液に病原体が混入するを防ぐためです。

病原体に感染している人の血液を輸血すると、感染が起こることがあります。そのため、献血されたすべての血液に対し、さまざまな病原体検査を行い、輸血用血液への病原体の混入を防いでいます。

その結果、現在では輸血による病原体感染はほとんどみられなくなっています。



病原体の
感染を防ぐために
行っている検査

- B型肝炎ウイルス検査
- C型肝炎ウイルス検査
- エイズウイルス (HIV) 検査
- HTLV-1 (ヒトT細胞白血病) ウイルス検査
- ヒトパルボウイルスB19検査
- 梅毒血清学的検査

Q 過去にC型肝炎ウイルス(HCV)に感染したことがあるが、現在は治っている状態であっても、今後の献血はできないの？

A 現在血液中にウイルスがない(HCV-RNA陰性)とされても、HCV抗体が陽性の血液は輸血用に使用しないこととしております。より安全な輸血のため、どうかご理解ください。

HCV-RNA 陰性かつHCV抗体陽性であれば、普段の生活の中で健康上問題となることはほとんどありません。しかし、HCV抗体が陽性の方から献血された血液は輸血に使用しておりませんので、献血はご辞退していただくことになります。より安全な輸血のための対策であり、どうかご理解ください。

HCV抗体の偽陽性とは？

C型肝炎ウイルス(HCV)抗体検査において、まれに血液センターでは「陽性」、病院では「陰性」、またはその逆の結果がでることがあります。このように検査結果が検査方法や検査試薬で異なる場合は、使用する検査試薬の性質による偽陽性（にせものの反応）の可能性があります。偽陽性はC型肝炎ウイルスの感染とは全く関係のないものですが、現状では偽陽性なのか、過去にウイルスに感染し治癒した状態なのかを区別し、確認する方法がありません。

いずれにしても、HCV-RNAが陰性であれば、「現在、感染していない」と判断されますので、健康上の心配はありません。

ただ、輸血用血液の使用適否の基準では、「現在、感染していない」と判断されても、輸血用として使用できないことになっています。

おわりに

日本赤十字社では、いのちを救うために欠かすことのできない血液を確保するため、皆さまに献血のご協力をお願いしています。

献血していただいた血液は、輸血用血液などに利用していますが、安全性を確保するため、さまざまな検査や対策を講じています。

本誌では、こうした安全対策の一環として実施している「C型肝炎ウイルス検査」について、その目的やあなたの検査結果について、ご説明しました。

献血のご協力に感謝するとともに、検査の結果をぜひあなたの健康管理にお役立ていただきますようお願い申し上げます。

日本赤十字社 血液事業本部

献血されたあなたへ

「今回献血された血液検査」の結果についてご説明します。



今回の献血時の検査結果から、

現在のあなたは、

① 過去にC型肝炎ウイルス(HCV)に感染したが、

現在は治っている状態、又は

② 検査法・検査試薬による偽陽性（にせものの反応）の可能性があります。

①、② どちらの場合も

健康上の心配はありません。

- 日常生活で特に注意することはありません。
- 病院を受診する必要はありません。

今後の献血はご辞退をお願いいたします。

詳しい説明は、裏面へ

監修 武蔵野赤十字病院
院長
泉 並木



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

● C型肝炎ウイルス(HCV)とは？

肝炎を起こすウイルスにはA型、B型、C型、D型、E型などがあり、C型肝炎は、C型肝炎ウイルス(HCV)が血液・体液を介して感染して起きる肝臓の病気です。

HCVに感染すると、**70～80%の方はC型肝炎ウイルスの持続感染状態(HCVキャリア)となり**、自覚症状がほとんどでないまま経過し、慢性肝炎を発症します。

HCVは、主に血液を介して感染するため、患者さんへの輸血の安全性を確保する上で極めて重要なウイルスです。

日本国内でこのウイルスに感染している人は、150万人～200万人と推定されています。

● C型肝炎ウイルス感染を調べるための検査項目と感染状態

	HCV-RNA [※]	HCV 抗体	感染状態
①	陽性	陽性	現在、感染している。→ HCVキャリア (血液中にウイルスがいる。)
②	陽性	陰性	
③	陰性	陽性	現在、感染していない。(血液中にウイルスがない。) ・ 過去に感染した可能性がある。 ・ 検査法・検査試薬による 偽陽性(にせものの反応) の可能性がある。
④	陰性	陰性	感染したことがない。

※ 核酸増幅検査(NAT)

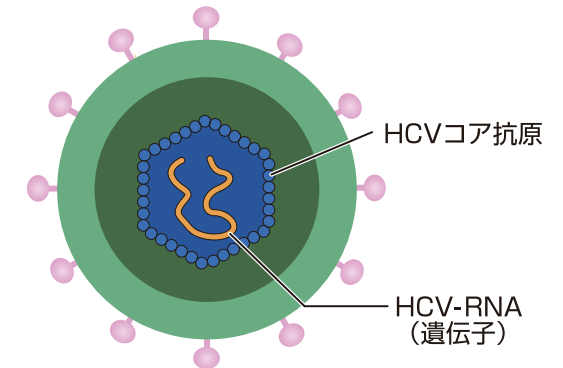
あなたの検査結果は

「③、現在、感染していない。(血液中にウイルスがない。)

・ 過去に感染した可能性がある。

・ 検査法・検査試薬による偽陽性(にせものの反応)の可能性がある。」です。

● C型肝炎ウイルスの構造



HCV-RNAとは？

C型肝炎ウイルスの遺伝子です。

陽性の場合は、現在、HCVに感染している可能性があります。

HCV抗体とは？

HCV抗原に対する抗体です。

陽性の場合は、「現在、HCVに感染している人(C型肝炎ウイルス持続感染者(HCVキャリア))」、又は、「過去にHCVに感染し、治癒した人(感染既往者)」の可能性があります。

HCV-RNAと核酸増幅検査(NAT)

核酸増幅検査(NAT)は、ウイルスを構成する核酸(DNAまたはRNA)の一部を約1億倍に増幅して検出するため、ごく微量のウイルスでも、血液の中に存在するかどうか(感染しているか)を知ることができる検査法です。HCV-RNAの検査はこの核酸増幅検査(NAT)で行われます。